

所 属・職 位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 理学療法コース・助教	
氏 名	田中 健一郎 (Tanaka Kenichiro)	
取 得 学 位	博士 (医学)、長崎大学、2018年3月	
SDGs 目標	3 すべての人に健康と福祉を  4 質の高い教育をみんなに 	

研 究 分 野	リハビリテーション科学、健康科学
研究キーワード	理学療法、高齢者、介護予防、地域包括ケアシステム
研 究 内 容・ 研 究 業 績・ アピールポイント	●高齢者の介護予防・健康増進に関する研究 高齢者では加齢に伴い、徐々に身体機能が低下し、健康な状態から要介護の状態に陥りやすくなります。多くの自治体では身体機能の低下を予防する事業が実施されていますが、住民主体型の事業の効果については、詳細が明らかにされていません。本研究では効果的な介護予防、健康増進事業の開発に関する研究を行っています (図1)。 この研究では、住民が主体的に行う介護予防事業においても、バランス機能や歩行機能の改善の他に、日中の身体活動量の改善効果が示されました。さらに、住民同士のつながりが強化され、地域機能の改善効果についても可能性がみられています。 住民の方々が末長く、住み慣れた地域で健康的に、また、希望をもって生活を続けられることを目標に、今後もより効果的な介護予防事業の開発に関する研究、疾患別の介護予防事業の効果に関する研究を行っていきます。



図1. 住民主体型の運動事業の様子